

補助事業番号 21-111

補助事業名 平成 21 年度 自転車活用促進に関する調査研究等補助事業

補助事業者名 財団法人 日本自転車普及協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地球環境問題をはじめとする社会問題への対策として、自転車を活用した社会システムづくりの可能性やニーズに関する調査研究を行う。また、自転車の利用環境の整備や利用促進の取組み・新しい利用方法に関する情報発信を行うことで、自転車の持つ魅力の認知度向上や利用促進を図り、もって自転車産業の発展に資する。

(2) 実施内容

1) 自転車活用に係る調査研究

①公共交通としてのレンタサイクルシステムフィージビリティ調査研究

地球環境問題等に対する対策として、自転車を新たな公共交通手段として位置づけ、普及促進を図るため、平成 20 年度に実施した「公共交通としてのレンタサイクルシステム」の調査研究を踏まえて、全国の主要な都市を選定し導入に向けたフィージビリティスタディ(実現可能性の検証)を行った。

②レンタサイクル管理システム調査研究

交通カードを利用したサイクルシェアリング(駅往復利用型、コミュニティサイクル型)のオペレーションシステム構築や付帯する広告事業等について鉄道事業者と検討を重ねたが、貸出拠点の用地確保や事業採算性の検証に時間を要することが判明し、やむなく事業の継続を断念した。

③障害者自転車ニーズ調査研究事業

障害者が自立して豊かな社会生活を送るための一助として、日常生活における自転車利用の可能性について調査・研究を行った。医療従事者、自転車ビルダーにヒアリングを行い、障害者自転車のニーズ、特性、問題点を整理した。また、試乗会・モニタリング調査を行い、安全で快適な自転車のニーズの抽出を行った。

④省スペース型駐輪システムの導入促進事業

大都市中心部における新たな駐輪システムとして、折りたたみ式自転車とロッカーを組み合わせた省スペース型駐輪システムの社会実験を JR 新宿駅新南口において実施し、効率的な自転車の活用を提案した。

⑤自転車の新利用創出事業

近距離交通手段としての自転車の優位性を積極的に PR するとともに、乗用時に CO₂ を排出しない環境にやさしい移動手段としての自転車の活用を促進するため、1 台の自転車を有効に活用するシェアリング(通勤・通学、ビジネス、買い物、観光等)について、全国各地の実態調査を行い、自転車社会の創出に貢献できるシェアリングの拡大手法を広く提案した。

⑥環境にやさしい自転車利用啓発事業

環境にやさしい自転車活用の施策として、奈良県において平成 22 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで開催される「平城遷都 1300 年祭」のメイン会場である平城宮跡においてサイクルポートの整備を行い、4 月 24 日から 8 月 31 日まで、レンタサイクルの効果測定アンケート調査を実施した。

⑦健康増進のための自転車利用啓発事業

自転車(スポーツサイクリング)が健康に良いとの評価を科学的に検証し、自転車のさらなる利用啓発を図るため、順天堂大学と共同で、研究 1「サイクリング愛好者の健康指標に関する研究」、研究 2「2 種類のローラーサイクリングのバイオメカニクスの比較検討」、研究 3「サイクリング愛好者の至適ケイデンスに関する」研究を実施した。

⑧自転車を活用したモビリティ・マネジメント推進事業

近年増加している自転車と歩行者の事故や製品事故などに対応し、利用者側に立った安全対策について検討するために「自転車利用環境整備等による安全性向上対策研究会」を立ち上げ、有識者や関係団体から広く意見を求め今後の自転車施策についての提言を実施した。

2) 自転車活用の普及啓発研究

①フォーラム開催

東京都千代田区の丸ビルホールにおいて「TOKYO サイクルフォーラム」と題し、「パーソナルからパブリックへ快適な街づくりを目指して」をテーマとし

た基調講演、欧州の自転車事情を収録した映像を制作し、自転車に関する各界の著名人を招き、パネルディスカッションを実施した。また、フォーラムの内容については、後日、BS フジにおいて放映した。

②自転車の普及啓発イベント事業

近距離交通手段としての自転車の優位性を積極的にPRするとともに、乗用時にCO₂を排出しない環境にやさしい移動手段としての自転車の活用を推進し、環境改善活動を発信する場として、「さいたま・横浜カーフリーデー」、「東京アースライド2009」、「エコプロダクツ2009 エコサイクルシティ」への展示出展を行った。また全国31地方自治体と共同で、「自転車利用促進事業」を実施した。

③自転車情報発信提供事業

東京都渋谷区千駄ヶ谷に自転車の総合情報発信施設「サイクルスクエア北参道」を期間限定でオープンした。常設機能として、レンタサイクルサービス、サイクルドック(メンテナンススペース)、サイクルギャラリー、映像放映、雑誌等の閲覧、インターネット無料サービス、コンシェルジュサービスの提供を行った。また、自転車ファッションショー、高級自転車試乗会、競輪場バンク体験、ポタリングなど体験型イベントや各種セミナー、トークショー等を開催し、自転車情報を総合的に発信した。

2. 予想される事業実施効果

1) 自転車活用に係る調査研究

自転車活用促進に関する調査研究等補助事業については、各種事業を確実に実施し、自転車の持つ魅力の認知度向上や利用促進についての多角的な視点からの情報の発出を効果的に行えたことで、自転車利用の拡大に大きく貢献することができる。

2) 自転車活用の普及啓発研究

フォーラムや地方自治体と共同開催した自転車利用促進事業、サイクルカフェ「サイクルスクエア北参道」の設置により自転車の有用性や利用促進を広くアピールしたことで、自転車が安全かつ快適に利用できる環境づくりを啓発することができる。

3. 本事業により作成した印刷物

1) 自転車活用に係る調査研究

- ・ 公共交通としてのレンタサイクルシステムフィージビリティ調査研究
「公共交通としてのコミュニティサイクルシステム研究会」報告書
<http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/kenkyukaihoukoku.pdf>
 - 「公共交通としてのレンタサイクルシステムフィージビリティ調査」報告書
【新潟市】 <http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/niigatashi.pdf>
【さいたま市】 <http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/saitamashi.pdf>
【立川市】 <http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/tachikawashi.pdf>
【横浜市】 <http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/yokohamashi.pdf>
【鹿児島市】 <http://www.bpaj.or.jp/report/fijibirity/kagoshimashi.pdf>
 - ・ 障害者自転車ニーズ調査研究事業
「障がい者自転車ニーズ調査研究事業」報告書
<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2010NEEDS-repo.pdf>
 - ・ 省スペース型駐輪システムの導入促進事業
「省スペース型駐輪システムロッカーサイクル体験キャンペーン」報告書
<http://www.bpaj.or.jp/report/shousupesuhoukokusho03.23.pdf>
 - ・ 自転車新利用創出事業
「サイクルシェアリングの利用実態調査」報告書
<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2010CSSR-repo.pdf>
 - ・ 環境にやさしい自転車利用啓発事業
「平城宮跡レンタサイクル社会実験アンケート調査」報告書
<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/nara-renta.pdf>
 - ・ 健康増進のための自転車利用啓発事業
「自転車による健康増進のための自然科学的研究」報告書
 - ・ 自転車を活用したモビリティ・マネジメント推進事業
「自転車利用環境整備等による安全性向上に関する提言」
<http://www.bpaj.or.jp/report/anzensei%20koujyou%20teigen.pdf>
「自転車利用環境整備等による安全性向上対策研究会」報告書
- #### 2) 自転車活用の普及啓発事業
- ・ フォーラム開催
「TOKYO サイクルフォーラム」DVD
「TOKYO サイクルフォーラム」報告書

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2010TCF-repo.pdf>

・ 自転車の普及啓発イベント事業

「さいたま・横浜カーフリーデー2009」報告書

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2009CARFREE-repo.pdf>

「東京アースライド 2009」報告書

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2009TER-repo.pdf>

「エコプロダクツ 2009 エコサイクルシティ」報告書

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/information/pdf/2010ECOPRO-repo.pdf>

・ 自転車利用促進イベント事業

「Biketope2009」報告書

<http://www.bpaj.or.jp/report/biketope.pdf>

・ 自転車情報発信提供事業

「サイクルスクエア北参道」実施報告書

<http://www.bpaj.or.jp/report/cyclesquare%20report.pdf>

4. 補助事業者連絡先

団 体 名 : 財団法人 日本自転車普及協会
(ザイダンホウジン ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所 : 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号

代表者名 : 会長 阿部毅一郎 (アベ キイチロウ)

担当部署 : 事業部

担当者名 : 事業部 担当部長 山本耕治 (ヤマモト コウジ)

電話番号 : 03-3586-3278

FAX 番号 : 03-3586-9782

E-mail : jifukyo@jifu.jp

URL : <http://www.bpaj.or.jp/>